



2022年12月下旬刊 【アニメ・評論】

# ジブリ・アニメーションの文化学

## ——高畑勲・宮崎駿の表現を探る



米村みゆき [専修大学教授]・須川亜紀子 [横浜国立大学教授]=編

定価：本体2200円 [税別] / 四六判並製 / 352頁

- 目次
- 1 「ジブリ顔」とは何か——キャラクター造形という協働 / 石田美紀
  - 2 航空機体の表象とその運動ベクトル / キム・ジュニアン
  - 3 焼跡と池——高畑勲『火垂るの墓』における地域表象 / 横濱雄二
  - 4 四大元素と菌の問題系——宮崎駿『風立ちぬ』論 / 友田義行
  - 5 『コクリコ坂から』と『理想世界』——戦争の記憶をめぐって / 奥田浩司
  - 6 『アルプスの少女ハイジ』ドイツ語版アニメとの比較研究 / 西口拓子
  - 7 高畑勲と「大衆と共にある芸術」 / 井上征剛
  - 8 動物 / 人間の境界線の攪乱 / 米村みゆき

### ジブリアニメの見え方が変わる！

ジブリアニメは、深掘りすれば、さらに面白い！

本書では、以下のような疑問にアニメーション研究者が挑んでいます。

#### 「ジブリ顔」とは何か？

こう言われれば、皆さんの頭には様々なキャラクターが浮かぶと思いますが、それはどのような経緯をたどって生まれ(宮崎駿が一人で作り上げたの?)、どんな特徴があるの？

#### 宮崎アニメにとって兵器とは？ 戦争とは？

反戦を打ち出しながら、なぜ宮崎駿は兵器に強い愛着を示し、それを執拗に描き続けるの？ なんであんなに激しく撃ち合っているのに死なないの？



ハイジの目の描き方は、マルコやパズーへと引き継がれていきます



株式会社 七月社

〒182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話 / FAX : 042-455-1385

帳合・番線 注文数 冊	発行：七月社 電話：042-455-1385
	米村みゆき・須川亜紀子=編 <b>ジブリ・アニメーションの文化学——高畑勲・宮崎駿の表現を探る</b> 四六判並製 / 352頁 / 本体2200円 / ISBN978-4-909544-28-5 C0074

ご注文は JRC へ / FAX **03-3294-2177** \*返品条件付き注文扱い \* JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です